

# 高活協通信(2026年4月号)

発行：一般社団法人 高齢者活躍支援協議会

<http://www.agenomics.org>

## ◆◆◆高活協ニュース◆◆◆

■高活協通信4月号をお届けいたします。

■2026年3月6日 市ヶ谷駅そばのアルカディア市ヶ谷(私学会館)で、2025年度の「高齢社会 NGO 連携協議会(略称「高連協」以下高連協と略します。)」の情報交換会が開催されました。高活協からは、村関と、高活協の前理事長として、永く本情報交換会に出席いただき、高連協の役員(理事)でもいらっしゃる岡本憲之理事と一緒に参加してまいりました。

高連協は、国連が定めた1999年の「国際高齢者年(International Year of Older Person)」に向けて1998年に創設され、2000年に改組され、現在の体制となりました。高活協も一員である正会員が18団体、特別会員が2団体、賛助会員が1団体となっています。

高連協の提唱する次の「高齢者憲章」にその目指すところが記されています。

### (高連者憲章)

高連協は、国連提示の「高齢者の自立、参加、ケア、自己実現、尊厳(五原則)」とともに、「高齢者の役割」も踏まえて、「すべての世代が生きがいある生活を追求できる平和な社会」、「年齢差別のない社会」の創造をめざしています。そして、この運動の基本的指針を「高齢者憲章」として、ここに提唱します。

として、7つの提言 ①尊厳 ②社会参加 ③社会貢献 ④健康づくり ⑤まちづくり ⑥社会保障制度 ⑦生涯学習を挙げています。詳しくは高連協のHP <https://www.janca-jp.com/> をご参照ください。

3月6日の当日は13時から情報交換会 15時半から懇親会が開催されましたが、懇親会でお目にかかった各団体の方々のご年齢をお聞きして大変驚きました。一番のお歳と思われる社会教育協会の黒水さんが94歳、それ以外の方も80代後半の方が多く、しかも大変お元気でした。70歳になった私(村関)は、ここではまだまだ「小僧っこ」の部類だと実感しましたが、こうした活動を通じて、他の団体での取組についてもご一緒できるところはやって行きたいと思っています。有難かったのは、ご出席の皆さんが2022年に亡くなられた高活協立ち上げをリードした上田研二さんのことをご存じで、上田さんの言っていたダジャレのネタを披露してくれたりしたことでした。当日の出席者一覧を次に記します。

さわやか福祉財団がこの高連協の事務局的な機能を担っているようですが、この財団は、元検事総長の堀田力さんが立ち上げられた組織です。高活協のように、「働く」ということをテーマに活動している団体は、高連協の中ではあまりないように思われました。

1	1	NPO法人高齢社会をよくする女性の会	副理事長	石田 路子
	2		副理事長	渡辺 敏恵
	3		理事	宮崎 冴子
2	4	(一・社)高齢者活躍支援協議会	理事	岡本 憲之
	5		理事長	村関 不三夫
3	6	(公・財) さわやか福祉財団	理事長	清水 肇子
	7			玉置 英明
4	8	NPO法人 市民福祉団体全国協議会	代表理事	鷺尾 公子
5	9	(公・財) 社会教育協会	理事長	黒水 恒男
	10		事務局長	星野 一夫
	11	(公・財)社会教育協会日の社会教育センター	副館長	山本 江里子
6	12	(公・社)長寿社会文化協会	常務理事	升田 忠昭
	13		常務理事	浅川 澄一
7	14	NPO法人日本心身機能活性療法指導士会	理事	鷹野 義量
8	15	NPO法人 日本世代間交流協会	会長	杉 啓以子
9	16	(一・社)日本老年医学会	元理事長	大内 尉義
		(虎の門病院名誉院長)		
	17	個人会員		久保 欣一
ゲスト	18	(公・社)日本フィランソロピー協会	理事長	高橋 陽子

本高活協通信とあわせて、当日配布された各団体の資料を添付しますのでご参考にしてください。

#### ■ 高齢者雇用の総合誌『エルダー』のご紹介

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）が発行する高齢者雇用の総合誌「エルダー」に関する情報は、下記の URL からご覧いただけます。

[啓発誌「エルダー」 | 独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構](#)

4月号では、以下のような記事が掲載されています。

1. リーダーズトーク 「健康を第一にフレキシブルな働き方を実践 「働くからこそ」元気になる」という表題で、私(村関)を取り上げていただきました。現役時代とは違う無理のない働き方をすることで、年金プラスアルファの生活で幸せに過ごせる。そうした働き方をするにも「派遣」という就労形態は適しているのではないかといったような観点からお話をさせていただきました。

また、当社(高齢社)で行っている研修プログラムを元に昨年「人には聞けない 60 歳からのビジネスマ

ナー」という本が宝島社から出版されましたが、その中で取り上げている、シニアが派遣として働く時の心がまえとして、過去の肩書などをひけらかしてしまう人は派遣先で受け入れられない、65歳過ぎても仕事ができること自体に「感謝」して、「謙虚な」気持ちで働くことの重要性などをお話しました。

そして、色々な知見を持っている高齢者の活躍の場をこれからも広げていくことが大事なので、受け入れ企業も年齢だけ見て、「こんな歳では」と先入観をもったりせずにしていただきたいこと、ただ、シニアならではの健康面や安全衛生面だけはしっかりとサポートしていただきたいといったようなお願いで締めくくりました。

2. **特集**では、この4月から改正労働安全衛生法が施行され、高年齢労働者の労働災害防止措置が努力義務化されることから、以下の5つの記事が出ています。

- (1)総論 改正労働安全衛生法による高年齢者の労働災害防止対策について・・・厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課
- (2)解説1 安全衛生管理体制の確立・・・中央労働災害防止協会 安全衛生マネジメントシステム審査センター 所長 斉藤 信吾さん
- (3)解説2 職場環境の改善 千葉大学大学院医学研究院 環境労働衛生学准教授 能川 和浩さん
- (4)解説3 高年齢労働者の健康や体力の把握と体力に応じた対応・・・産業医科大学 高年齢労働者産業保健研究センター長・教授 財津 将喜さん
- (5)事例 SOMPO ひまわり生命保険株式会社 「健康応援企業」の実践が生み出す高齢労働者の安全づくり

◆◆◆高活協主催/共催イベントの紹介◆◆◆

---

■これまで高活協が主催した(共催含む)イベントの報告書/記録集

過去に高活協が主催・共催したイベント(シンポジウム、セミナー/フォーラム)の報告書や記録集は、高活協ホームページの「高活協アーカイブ」ボタンをクリックしてご覧になれます。(ホームページは下記 URL)

<http://www.agenomics.org/>

◆◆◆  
配信先メールアドレスの変更をご希望の方、また配信が不要な方は高齢者活躍支援協議会・事務局までご連絡ください。

本通信に対するご意見やご感想をお聞かせください。

また、本通信に掲載してほしい情報等がありましたら、ぜひご連絡ください。

---

一般社団法人高齢者活躍支援協議会

〒101-0021 千代田区外神田 3-6-4 OSビル 5F (株)高齢社内 HP: <http://www.agenomics.org>